

高い成長率を誇る中国最大の経済圏「長江デルタ経済圏」の住宅開発プロジェクト 中国・江蘇省「南通市港閘区プロジェクト」販売開始 敷地面積約98,000㎡、総住戸数約1,100戸の大規模住宅開発事業

三菱地所レジデンス株式会社は、高い経済成長を誇る中国江蘇省にて、中国でトップクラスの住宅供給量を誇るデベロッパー「万科企業」との共同事業で取り進めている「南通市港閘区プロジェクト」について、2018年6月27日に販売開始いたしました。約98,000㎡の敷地に低層・中高層住宅約1,100戸を開発する予定で、南通市の都心エリアながら緑あふれる環境が特徴です。なお、三菱地所レジデンスとして、江蘇省での事業は今回が初となります。

南通市は長江デルタ経済圏内の江蘇省に位置し、近年GDPが年間10%前後の成長を続けるなど、経済発展が目覚ましく、住宅需要が非常に高い都市です。近年は鉄道網の整備も進み、将来的に中国最大の経済都市の一つである上海へのアクセス利便性が一層向上するなど都市間の連携が進み、一層の経済発展が期待されています。



▲「南通市港閘区プロジェクト」完成予想CG

当社は、2013年の成都での大規模住宅開発事業への参画を皮切りに中国へ進出しており、今回発表した物件で中国での参画プロジェクトは累計4件となります。

三菱地所グループでは、2020年までに海外での事業による利益を350億円まで高めることを目標としています。当社もアジアを海外事業の重点エリアとして位置づけ、中国・ASEAN諸国を中心に今後も積極的に事業を推進してまいります。

■エリアの特徴

長江デルタ経済圏は、上海・南京・蘇州・杭州・無錫・寧波等の大都市を含む長江沿岸エリアで、面積約21万k㎡、人口約1.5億人に達します。GDP総量(2014年)は約12.7兆元と中国全体のGDPの18.5%を占め、中国国内最大の経済圏の一つです。

今回のプロジェクトが所在する南通市は、長江デルタ内の江蘇省の南東に位置する都市です。上海から車で約2~3時間でアクセス可能であるほか、今後南通-上海間を結ぶ高速鉄道の開通が予定されるなど、更なる交通便利性の向上と都市の成長が期待されています。



©OpenStreetMap contributors

■南通市港閘区プロジェクトの概要



▲完成予想 CG (高層住宅)



▲完成予想 CG (低層住宅)

計画名称	南通市港閘区プロジェクト
事業者	万科企業、三菱地所レジデンス
所在地	江蘇省南通市港閘区長泰路東、新華路北
建物規模	低層住宅、中高層住宅
住宅総戸数	約1,100戸(予定)
敷地面積	約98,000㎡
竣工	2020年(予定)



©OpenStreetMap contributors

(パートナー会社)

・万科企業

1984年の創業以来、30年以上にわたり中国全土で不動産開発・住宅関連サービスを提供している。2016年にはFortune 500に選出された中国を代表する不動産デベロッパーの1社。

主要な事業領域は不動産開発、不動産関連サービス、賃貸住宅運営。商業施設の開発・運営、物流施設や倉庫サービス、高齢者向けサービスや教育関連事業など、事業領域を拡大している。

vanke 万科
赞美生命 共筑城市

以上